

## 助成事業実施報告書

団体名 NPO 法人 ぐみ・環境ビジョン21

代表者・役職名 氏名 田浪 政博

## 1. 助成プロジェクト名

「市民ごみ大学セミナー」と「生ごみリサイクル交流集会 in 多摩」の開催と記録集の作成

## 2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

1996年12月、三多摩発アクションフォーラム「21世紀のごみを考える!」を小金井公会堂で開催したことがきっかけとなり、準備会を経て1998年5月に設立、2002年5月にNPO法人格を取得。現在、会員は全国に約160(団体・個人)

## 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

多摩地域の自治体ではごみの「埋め立てゼロ」が進み、いよいよ発生抑制と脱焼却・資源化へ、すなわち「ゼロ・ウェイスト」に向かって進む段階にきています。COP21のパリ協定に盛り込まれたCO2の大幅削減のためにも、ごみ減量を進め、リサイクル率を大きくアップさせる必要があります。ごみ・リサイクルに関する実践情報についてのニーズはより高まっていると言えます。

このような背景の中で、行政・市民が協働の意識を高め、優れた実践活動の事例や考え方を学び、多摩地域全体のレベルアップを目的に実施するものです。

## 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

セミナーはごみ減量や環境分野で関心の高いテーマで開催し、交流集会は生ごみのリサイクルに特化して開催しました。実施後には、その内容を情報紙「ごみと・SUN」で特集し、作成した交流集会記録集とともに、情報共有と各地の実践を進めるために、多摩地域の自治体や市民団体等に寄贈しました。

## 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

「生ごみリサイクル交流集会 in 多摩」を6月に開催、市民ごみ大学セミナー「私たちの暮らしとつながる海のマイクロプラスチック汚染を考える」をクリーンむさしのを推進する会とともに10月に開催、「紙類リサイクルの最前線」を2月に開催しました。3回のイベントを通して、約180名ほどの参加者と場を共有し、終了後には参加者がそれぞれの地域でこの内容を発信するなどの効果がありました。情報紙「ごみと・SUN」で特集し、作成した記録集とともに多摩地域の自治体や関係者に寄贈し、多摩地域全体のレベルアップに貢献することができました。

## 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

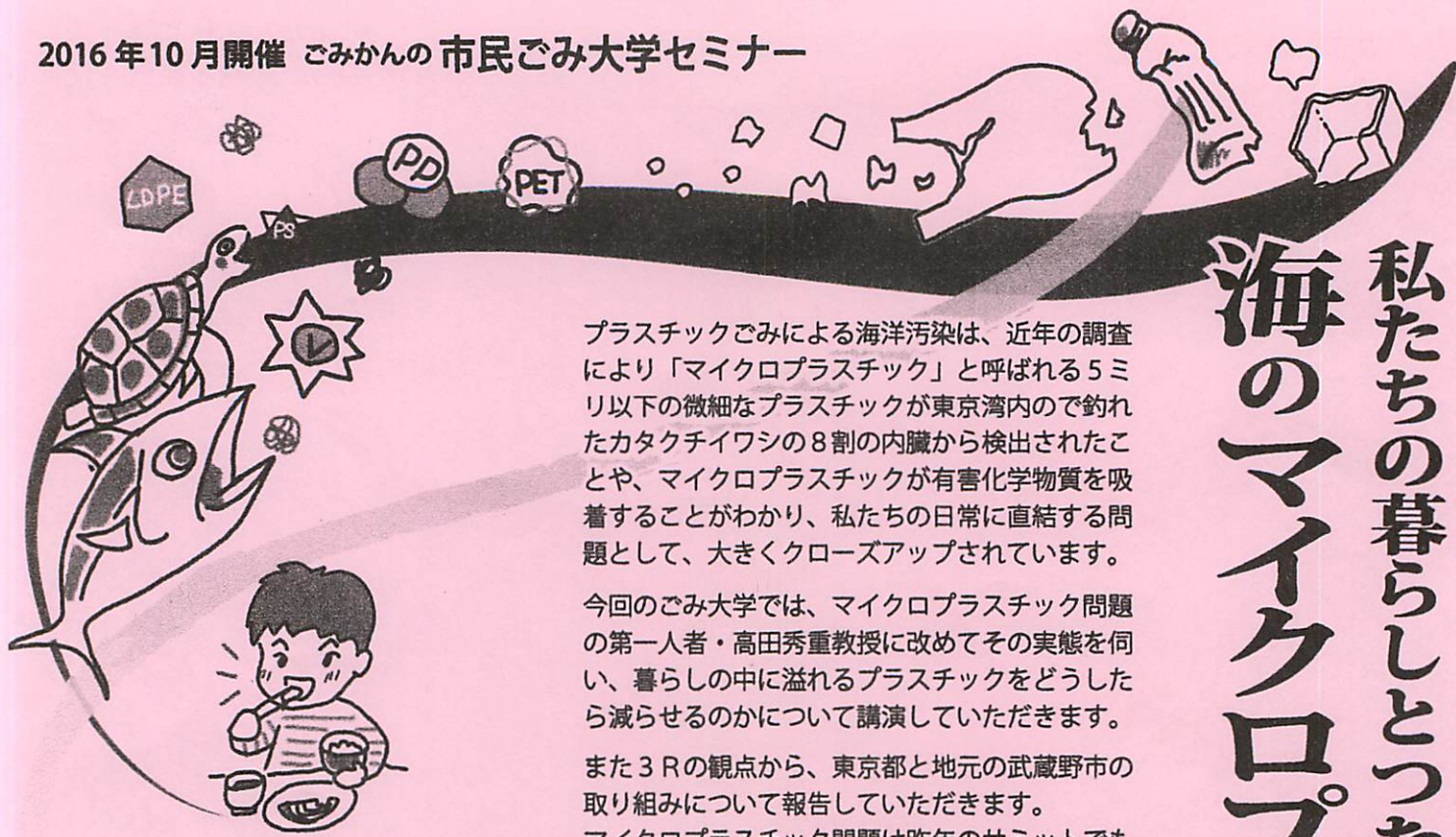
今後も、他団体と連携し交流会やセミナーを開催していきます。ただ、紙媒体での記録集の作成には限界があるため、情報紙「ごみと・SUN」紙面でのダイジェストを報告に替え、参考情報としてメール発信することも考えています。

## 7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり





# 私たちの暮らしとつながる 海のマイクロプラスチック汚染 を考える

プラスチックごみによる海洋汚染は、近年の調査により「マイクロプラスチック」と呼ばれる5ミリ以下の微細なプラスチックが東京湾内ので釣れたカタクチイワシの8割の内臓から検出されたことや、マイクロプラスチックが有害化学物質を吸着することがわかり、私たちの日常に直結する問題として、大きくクローズアップされています。

今回のごみ大学では、マイクロプラスチック問題の第一人者・高田秀重教授に改めてその実態を伺い、暮らしの中に溢れるプラスチックをどうしたら減らせるのかについて講演していただきます。

また3Rの観点から、東京都と地元の武蔵野市の取り組みについて報告していただきます。マイクロプラスチック問題は昨年サミットでも議論され、対策強化が首脳宣言にも盛り込まれましたが、高田教授は「いま手を打たなければ今後20年で10倍になる」と強く警鐘を鳴らしておられます。どうぞ奮ってご参加ください。

2016年10月16日(日)  
14:00 ~ 16:30 (開場 13:45)

## 基調講演 マイクロプラスチックによる海洋汚染の実態とその対策

東京農工大学教授 高田秀重 さん

### 報告 1 持続可能な資源利用に向けた東京都の取組み

東京都 環境局 資源循環推進部 計画課  
資源循環推進専門課長 古澤康夫 さん

### 2 マイボトル・マイカップ推進の取組み

マイボトル・マイカップキャンペーン  
武蔵野市民の会 白石ケイ子 さん

主催：NPO 法人ごみ・環境ビジョン21 クリーンむさしのを推進する会  
共催：マイボトル・マイカップキャンペーン  
後援：武蔵野市 西東京市 小金井市 調布市  
協力：一般社団法人JEAN

真如苑助成金事業

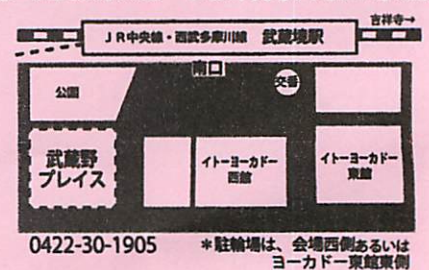


NPO法人  
ごみ・環境ビジョン21

〒185-0012  
国分寺市本町 2-19-9-7  
TEL&FAX 042-328-6621 月曜日(除く祝日) 13 ~ 17時  
\*不在時は 080-1131-6205 井上 / 080-6670-6641 江川  
メール gomikan@mtf.biglobe.ne.jp  
ホームページ http://www2u.biglobe.ne.jp/GOMIKAN/

会場 武蔵野プレイス 4階フォーラム

JR中央線・西武多摩川線 武蔵境駅 南口 駅前



申込み不要  
直接会場へおいでください  
資料代：500円

0422-30-1905 \*駐輪場は、会場西側あるいはヨーカドー東館東側



発表

● 調布市

調布市環境部ごみ対策課 課長補佐 齋藤 保 さん

古紙の収集現場から！  
調布市における現状と課題

燃やせるごみの中で生ごみに次いで多いのが紙類。ごみ減量のためには分別の徹底が大切。調布市における古紙収集の現状と課題について紹介。また、市民向けに行っている啓発等を紹介。

● トムラ・ジャパン(株)

セールス&マーケティング部ゼネラルマネージャー 松井一茂 さん

小売店頭を活用した  
古紙ポイント回収

ここ数年で進展した小売店頭を活用した古紙ポイント回収システムの概要を、導入事例とともに解説します。併せて、当社の概要や業界の概要、市場の推移、当社の取り組みの状況と実績などを紹介します。

● コアレックス信栄(株)

常務執行役員 佐野 仁 さん

にっぽんの暮らしで発生する  
すべての紙は資源！

家庭や事業所で可燃ごみとなっていた難再生紙（ホチキス止めやファイルに綴じられた資料、段ボール入りの機密書類など）を、最新鋭のプラントでそのまま溶解し、トイレットペーパーの原料にしています。

● (株) スーパー・フェイス

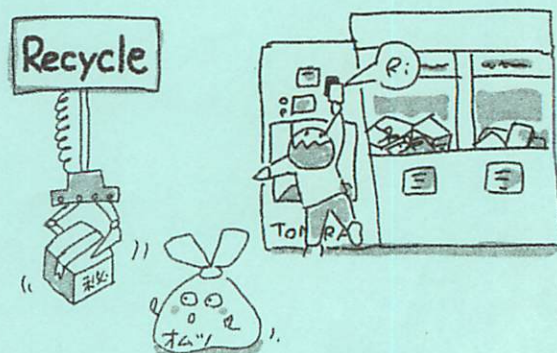
代表取締役社長 木村幸弘 さん

紙おむつのごみを  
地球を救う燃料へ！

本技術は、これまで「処理方法がなく、埋立てか焼却するしかない」と思われていた使用済み紙おむつのエネルギーリサイクルを可能にしたものです。年々増加傾向にある紙おむつごみを、資源として再生する取り組みを紹介します。

# 紙類リサイクルの最前線

2017年  
2月5日(日)  
13:30 ~ 16:30



家庭から出る可燃ごみでは、生ごみと並んで紙類が大きな割合を占めています。

紙類としては、汚れていてリサイクルできないものだけではなく、リサイクルが可能なものも混入しています。CO2が発生する焼却を減らすためにも、リサイクルできるものはリサイクルしていく必要があります。

リサイクルが可能なものには…

- ① 新聞、雑誌、ダンボール、雑紙など、従来からリサイクルの対象となっているものと
- ② 難再生古紙（禁忌品を含む）や紙おむつなど、まだごく一部でしかリサイクルされていないが、最近リサイクル技術が開発され、リサイクルが可能になったものがあります。

今回のセミナーでは、①については、紙類の分別収集で優れた実績を上げている自治体や、紙類のリサイクルを促進する古紙自動回収機の設置を進めている事業者による取り組み状況を紹介していただき、また、②については、こうした技術を開発された事業者による、リサイクル方法や事業展開状況などを紹介していただきます。

真如苑助成金事業



NPO法人  
ごみ・環境ビジョン21

〒185-0012  
国分寺市本町 2-19-9-7  
TEL&FAX 042-328-6621 月曜日(除く祝日) 13 ~ 17 時  
\*不在時は 080-1131-6205 井上 / 080-6670-6641 江川  
メール gomikan@mtf.biglobe.ne.jp  
ホームページ http://www2u.biglobe.ne.jp/GOMIKAN/

会場

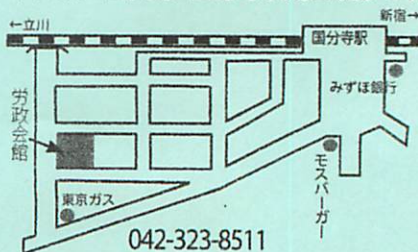
国分寺労政会館

3階第3会議室

中央線・西武線 国分寺駅南口徒歩5分

申込み不要。  
直接会場へおいでください。

参加費(資料代)  
会員・学生：500円  
一般：1000円



042-323-8511